

平成30年度 根室地区教育経営研究会

- 1 目的 学校運営に係わる組織・法制上の諸問題を解明し、校長としての職能向上に努め、学校教育のより円滑な推進に資する。
- 2 主催 根室管内小中学校校長会
- 3 後援 北海道教育庁根室教育局 根室市教育委員会 別海町教育委員会
中標津町教育委員会 標津町教育委員会 羅臼町教育委員会
北海道小学校長会 北海道中学校長会 北海道教育振興会
日本教育公務員弘済会北海道支部
- 4 主管 根室管内小中学校校長会 経営部
- 5 日時 平成30年8月22日(水) 9:00～12:00
- 6 会場 中標津町 トーヨーグランドホテル
- 7 参加者 根室管内小中学校校長会会員(42名)
- 8 日程 8:40～8:55 受付
9:00～9:05 開会式
9:05～10:00 解説と質疑
10:15～11:45 講演
11:45～12:00 閉会式

9 解説と質疑

- 北海道中学校長会 会長 橋本 直樹 氏(留寿都町立留寿都中学校長)
- 北海道中学校長会 経営部幹事 佐藤 誠 氏(千歳市立北斗中学校長)
- 北海道中学校長会 研修部幹事 設楽 正敏 氏(北広島市立東部小学校長)

(1) 情勢報告

①北海道小・中学校長会の活動について

- ・総会研修会(道小・道中・全連小・全中・全道会長等)
- ・理事研修会(道小年間五回・全中年間六回)
- ・小中合同事務局研修会・合同学習会
- ・文教施策懇談会・各課懇談会(北海道教育委員会とのつながり)
- ・北海道小学校長会教育研究大会、北海道中学校長会研究大会
- ・全国連合小学校長会研究大会(佐賀)、全日本中学校長会研究大会(東京)
- ・道小、道中の刊行物について
- ・組織の在り方検討委員会の活動について
(組織の改変等について)
- ・北海道教育委員会への要望書の提出

②情勢報告(国内情勢と道内情勢)

- ・全国学力・学習状況調査の状況について(次年度英語の調査を導入、抽出調査での課題)
- ・大学入試改革について
- ・AI時代の教室未来図、個別最適化された学びについて



- ・教員の長時間労働解消に向けた「働き方改革」の推進について
(文化庁活動について文化庁からガイドライン策定予定)
- ・給食無償化に向けた動きについて
- ・公務員の定年延長について
- ・部活動指導員、SSWの配置状況について

(2) 質問・要望事項に関する回答

①職員配置、採用・人材確保について

- ・特別支援教育の推進に向けた条件整備について(通常学級における支援員の配置含む)
- ・特別支援教育支援員の配置数の拡充や特定財源化等については引き続き要望
- ・人材確保の状況(今年度当初の欠員状況)
- ・教員採用の辞退者の増加と採用試験志望者の減少について
- ・期限付き教員の採用方法の変更について

②コミュニティ・スクールの導入について

- ・地教行法の改正で努力義務となったことで導入する自治体増加
- ・H30.4.1現在の全国・北海道の導入状況について
- ・効率的な運営のために地域住民のコーディネーターがキーパーソン

10 講演

- 進行 根室管内小中学校校長会経営部長 野呂 幸生
- 講演 北海道教育庁根室教育局企画総務課長 赤塚 貴氏



(1) 講演「学校における働き方改革について」

①はじめに～学校の現状と課題

- ・「日本型学校教育」は、国際的にも高く評価され、学校が子どもたちの人格的成長に大きな役割を果たしているが、複雑化・多様化する課題が教員に集中し、授業等に専念しづらい状況となっている。こうした中、日本型学校教育を維持し、新学習指導要領を着実に実施するためには、教員の業務負担の軽減が喫緊の課題となっている。

②国の動向と文部科学省の取組状況について

③北海道アクション・プランについて

④根室管内の取組について

(各種会議の状況)

- ・平成30年4月27日「(全道)学校における働き方改革実現本部会議」
- ・平成30年6月1日「根室管内における働き方改革推進会議」(年3回予定)

⑤校長の役割とお願いしたいこと

- ・働き方改革の目指す理念の共有。
- ・学校における業務改善の取組の推進に当たっては、校長が責任を持ち中心的な役割を果たす。
- ・勤務時間を意識した働き方を進め、職員一人一人の意識改革を推進する。
- ・スクラップアンドビルドの意識を持ち、現状の取組を評価・点検する。
- ・教育局、教育委員会と連携しながら、保護者や地域への発信や近隣の学校への成果の波及を行う。



(2) 協議「各校における働き方改革の状況について」